

山梨県甲府市で市民団体がシンポジウム！ 「リニアは必要か？」開催！

9月26日、山梨県甲府市で市民団体「リニア・市民ネット山梨」が主催する「シンポジウム・リニアは必要か？」が開催されました。シンポジウムには専門家、市議会議員、市民団体、沿線住民など70名が参加し、JR東海労からも9名の仲間が参加しました。

4名のパネラーからは「新規需要は期待できず東海道新幹線からの利用転移だけでは赤字は必至」「新幹線とリニアの併営は自滅行為」「過剰投資はJR東海の経営破綻を招く」とJR東海の経営陣の甘さに言及、さらには「着工すれば止めることはできない、最後は国＝税金投入となるのか？」「災害時の安全や電磁波問題が解決されていない」「トンネル建設による水源での濁水が発生している」「リニアで街は繁栄しない」など、リニア中央新幹線の建設に対し、各方面から反対する意見が述べられました。また参加者からもリニアに



対する多くの疑問や反対意見が述べられ、淵上委員長からは当該企業の労働者としてリニア建設が労働者に及ぼす影響を参加者に訴えました。

多くの参加者がJR東海を批判！
リニア中央新幹線建設は中止するべきだ！